

就職みらい研究所

2015年4月17日
株式会社 リクルート キャリア

「2015年3月度 就職内定状況（2016年卒）」【速報】

－【「就職活動・内定状況」と「就職活動に対する心情」について】－

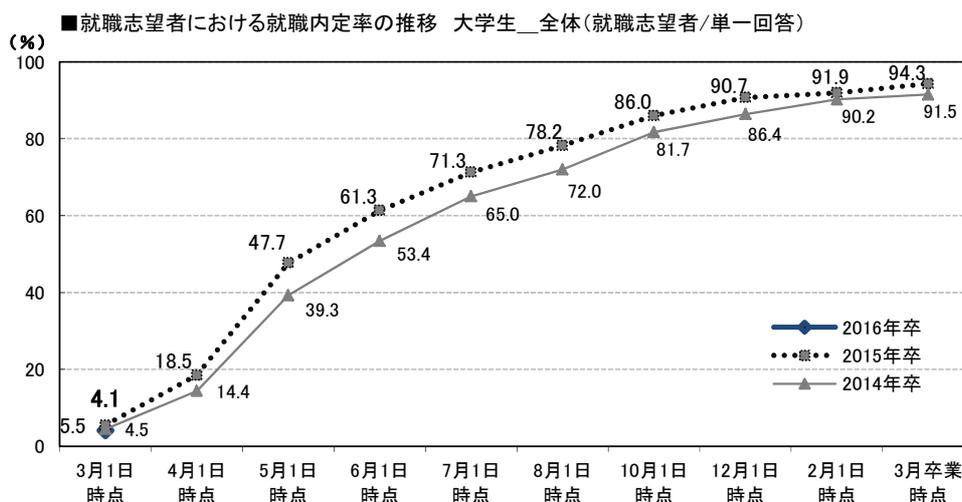
株式会社リクルートキャリア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:柳川 昌紀)のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所(所長:岡崎 仁美)は、リクルート就職活動モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

I) 「就職活動・内定状況」について

3月1日時点での大学生の就職内定率(※)は4.1%
前年同月の5.5%に比べて1.4ポイント低い

- 3月1日時点での就職志望者のうち、就職活動実施率は96.5%と、前年同月の98.4%と比べて、1.9ポイント低かった。
- 3月1日時点での就職志望者のうち、就職内定率は4.1%と、前年同月の5.5%と比べて、1.4ポイント低かった。



※3ページの「各率の算出方法」および「用語の定義」を参照

II) 「就職活動に対する心情」について

2月の「就職活動」に対する気持ちの“高まり度”は「5.94」

- 3月1日時点での就職志望者に対して、「就職活動」に対する気持ちの高まり度を「0」から「10」の11段階で聞いたところ、「7」が19.4%で最も多く、次いで「6」18.0%。平均値は「5.94」だった。

「就職活動」に対する心情の天気模様は、2月の現状および3月の見通しともに「薄日」と「曇り」が多い

- 3月1日時点での就職志望者の「就職活動」に対する心情を天気であらわすと、2月は「薄日」が31.7%、「曇り」が32.7%とほぼ同水準で多くなっている。
- 3月の「就職活動」に対する心情の見通しは、「薄日」が32.2%と最も多く、次いで「曇り」が25.1%となった。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 社外広報グループ宛
Mail:kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2	1) 就職活動実施状況および就職内定（内々定）の状況（3月1日時点）	4
就職志望者から見た内定状況の構図	3	2) 「就職活動」に対する気持ちの高まり度（2月）	
各率の算出方法、用語の定義	3	「自分自身」	5
		「周囲学生」	6
		3) 「就職活動」および「就職」に対する心情の天気模様	7
		【参考データ】大学院生の就職活動状況および内定状況のデータ	8

【調査概要】

調査目的：大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法：インターネット調査

集計方法：大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、**ウェイトバック集計**を行っている

【2016年卒：2016年卒3月度】

調査対象：リクナビ2016(※)会員の大学生および大学院生から、2015年1月14日～3月11日、調査モニターを募集し、モニターに登録した2016年卒業予定の男女5,159人（うち、大学生4,287人/大学院生872人）

* モニターの抽出条件は下記参照

調査期間：2015年3月13日～3月23日

集計対象：大学生 1,650人/大学院生 477人

※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト
<http://job.rikunabi.com/2016/>

【2015年卒：2015年卒3月度】

調査対象：リクナビ2015会員の大学生および大学院生から、2013年11月4日～11月12日、2014年1月21日～1月27日に調査モニターを募集し、モニターに登録した2015年3月卒業予定の男女7,327人（うち、大学生5,975人/大学院生1,352人）

調査期間：2014年3月2日～2014年3月10日

集計対象：大学生 2,521人/大学院生 776人

【2014年卒：2014年卒3月度】

調査対象：リクナビ2014会員の大学生および大学院生から、2012年11月13日～11月21日、2013年1月16日～1月20日に調査モニターを募集し、モニターに登録した2014年3月卒業予定の男女12,915人（うち、大学生10,656人/大学院生2,259人）

調査期間：2013年3月2日～2013年3月11日

集計対象：大学生 4,549人/大学院生1,260人

＜モニターの抽出条件＞

「卒業後の志望進路（志望する進路のすべて）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出（下記記載の②～④、⑥～⑨の項目および用語の定義については、3ページ参照）

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者＋志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

＜調査結果を見る際の注意点＞

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- 本資料での「前年」とは、「2015年卒」を示す

【就職志望者から見た内定状況の構図】

就職意向者(本調査モニター全体)

 は本資料に掲載している数値

志望進路状況

就職志望者
(Ⅰ 就職志望率)

就職以外志望者

志望進路未決定者

⑥起業 ⑦進学(国内) ⑧進学(留学) ⑨その他

①民間企業 ②公務員 ③教員 ④医師・歯科医師・看護師
⑤「①～④」以外の組織・団体

就職志望者

「①～⑤」を1つ以上選択
(「⑥～⑨」のみは含まない)

就職活動状況

就職活動実施者
(Ⅱ 就職活動実施率)

就職活動未実施者

就職内定状況

内定あり(内定取得者)
(Ⅲ 就職内定率)

内定なし(内定未取得者)

<各率の算出方法> 【時点：「当該月1日時点」】

Ⅰ 就職志望率	=	就職志望者数 ÷ 就職意向者数
Ⅱ 就職活動実施率	=	就職活動実施者数 ÷ 就職志望者数
Ⅲ 就職内定率	=	就職内定取得者数 ÷ 就職志望者数

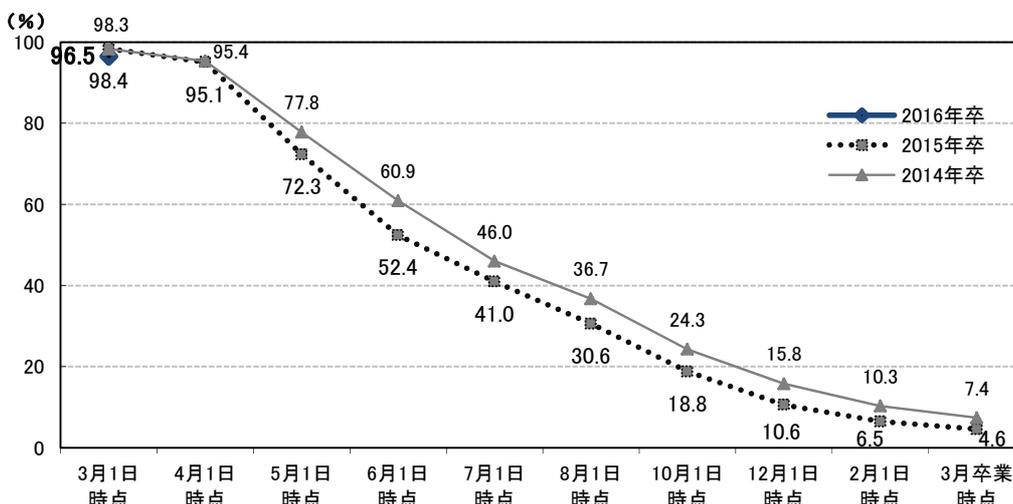
<用語の定義>

- 就職意向者 = 当初(本調査モニター募集時)の志望進路が「就職」および「未決定」者
 - 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
 - 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者
 - 就職内定取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験のある者
 - 就職内定未取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験がない者
 - 進路確定者 = 当月、進路が確定している者
- ※ 進路確定率 = 進路確定者数 ÷ 就職意向者数

1) 就職活動状況実施率および就職内定（内々定）の状況（3月1日時点）

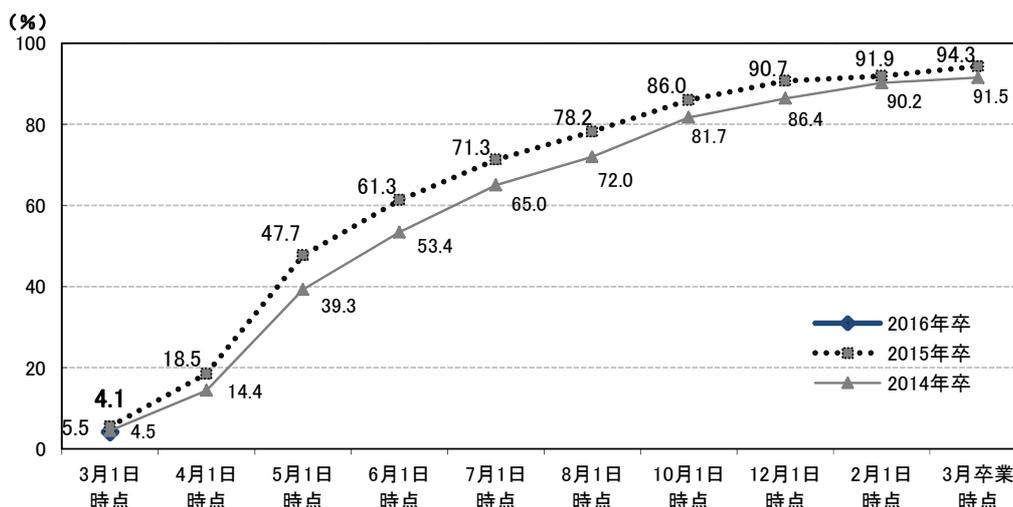
- 3月1日時点での就職志望者のうち、大学生の就職活動実施率（※）は96.5%で、前年同月の98.4%と比べて1.9ポイント低かった。
- 3月1日時点での就職志望者のうち、大学生の就職内定率（※）は4.1%で、前年同月の5.5%に比べて1.4ポイント低かった。

■就職志望者における就職活動実施率の推移 大学生_全体(就職志望者/単一回答)



	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	96.5%									
2016年卒	96.5%									
2015年卒	98.4%	95.1%	72.3%	52.4%	41.0%	30.6%	18.8%	10.6%	6.5%	4.6%
2014年卒	98.3%	95.4%	77.8%	60.9%	46.0%	36.7%	24.3%	15.8%	10.3%	7.4%
前回差										
前年同月差	-1.9									

■就職志望者における就職内定率の推移 大学生_全体(就職志望者/単一回答)



	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	4.1%									
2016年卒	4.1%									
2015年卒	5.5%	18.5%	47.7%	61.3%	71.3%	78.2%	86.0%	90.7%	91.9%	94.3%
2014年卒	4.5%	14.4%	39.3%	53.4%	65.0%	72.0%	81.7%	86.4%	90.2%	91.5%
前回差										
前年同月差	-1.4									

※「就職活動実施率」および「就職内定率」の定義は、3ページをご参照ください。

2) 「就職活動」に対する気持ちの高まり度（2月）【自分自身】

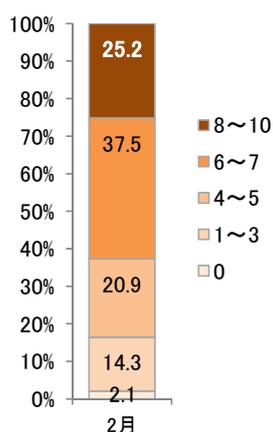
●3月1日時点での就職志望者に対して、「就職活動」に対する気持ちの高まり度を「0」から「10」の11段階で聞いたところ、最も多いのは「7」19.4%で、次いで「6」18.0%だった。平均値は、「5.94」であった。

■「就職活動」に対する気持ちの高まり度(2月)【自分自身】 大学生_全体(就職志望者/単一回答)

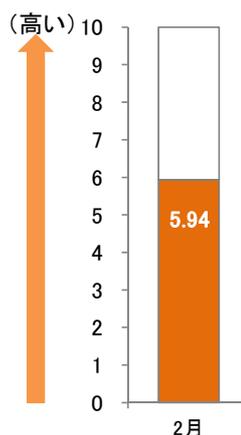
□【自分自身】(「0」～「10」の11段階)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
2.1%	2.6%	3.7%	7.9%	9.2%	11.7%	18.0%	19.4%	13.2%	5.3%	6.7%	5.94

□【自分自身】の高まりの5分類



□【自分自身】の平均



<「気持ちの高まり度」を選んだ理由(自由回答)> ※コメント内の(「 」)は、「高まり度」

【高まり度が「6」以上を選んだ学生】

- 合同説明会やインターンシップを受けて、ともに就職活動に奮闘する大学生を見て自分ももっと頑張ろうと思った。(「10」)
- 自己分析や企業研究を早い段階で行っていたため(9月から)焦って情報に振り回されることなく、マイペースに就職活動を行うことができているから。プライベートとの両立ができている分だけ、就職活動に対するモチベーションが維持できていると思う。(「10」)
- 現在志望している業種のインターンシップに参加したため。職場見学や職員の方との質疑応答を通じ、自分が働いている姿をイメージできたと共に就職活動に対するモチベーションが上昇したと感じた。(「7」)
- 就職活動をやりたい気持ちは高まったが、採用活動の時期が遅れたことによって夏休みが無くなることを見越し、2月のうちはプライベートを充実させたい気持ちが上回った。(「6」)
- 就職活動の時期が変わり、意識しなくてはならないと感じたため。(「9」)
- 1月などに比べて、3月の解禁も近づいていき、気持ちが始まり始めた。その焦る気持ちが、次のステップにつながったと思う。(「8」)
- 説明会やセミナーなどの情報が入ってきてついに就職活動が始まると感じたため。(「6」)
- 時期も変わったし、早めにかんばろうかなと思った。(「8」)
- 来月から就職活動が始まるという期待と不安の混ざったものがあったから。(「6」)

【高まり度が「3」以下を選んだ学生】

- 周りのスピードについていけない気がするため。(「0」)
- 3月が近づくにつれ気持ちが高まった。(「2」)
- 何から始めればいいのか、どうやって企業を探せばいいのかなど、分からないことが多く面倒だと感じていた。(「3」)
- 何をしたらいいかわからず、また自分に自信がないため、就職活動が上手く進むかが心配で、不安だったため。(「3」)
- まだ、企業の採用情報など解禁っていないので本気にはなれなかった。(「3」)
- 3月になってからでいいやって感じだったので。(「0」)
- まだ先輩からの情報収集だけで何も行動できていなかったから。(「2」)

2) 「就職活動」に対する気持ちの高まり度（2月）【周囲学生】

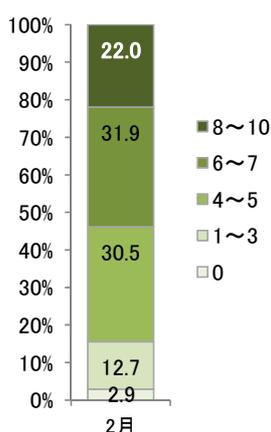
●3月1日時点での就職志望者に対して、自分の周囲にいる学生の「就職活動」に対する気持ちの高まり度を「0」から「10」の11段階で聞いたところ、「5」が22.1%で最も多く、平均値は「5.72」だった。

■「就職活動」に対する気持ちの高まり度(2月)【周囲学生】 大学生_全体(就職志望者/単一回答)

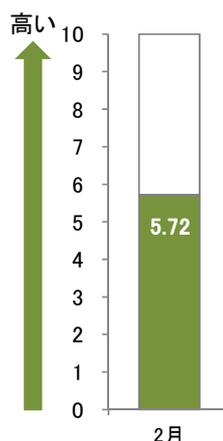
□【周囲学生】(「0」~「10」の11段階)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	平均値
2.9%	1.6%	3.9%	7.2%	8.4%	22.1%	16.4%	15.5%	12.6%	5.0%	4.3%	5.72

□【周囲学生】の高まりの5分類



□【周囲学生】の平均



<「気持ちの高まり度」を選んだ理由(自由回答)>

※コメント内の(「 」)は、「高まり度」

【周囲の高まり度が「6」以上を選んだ学生】

- 合同説明会やインターンシップでの質問の時間に多くの学生が深い質問をしていたから。(「10」)
- 2月中は、以前より、キャリアアドバイザーの方々に提出書類の添削を頼んでいる人が結構増えていたから。(「9」)
- 徐々にみんな合同説明会などにいきはじめた。(「6」)
- 動いている人とそうではない人で大きく分かれているから。(「7」)
- 両極端なほど周りの就職活動に対する気持ちには温度差があって、やる気満々な人とそうでない人の差が激しかったから。(「6」)
- キャリアセンターの面談予約のために朝早くから並んだり、過去の履歴書などを参考に進めているのをよく見かけたため。(「8」)
- 自分よりは、もっと就活に向けて勉強したり、情報を集めたりする人がいたと思うから。(「8」)
- インターンシップに積極的に参加したり、就職活動に関する話をする友人が多いと感じたため。(「10」)
- 就職活動のスケジュールが変わり3月からになったが、それ以前に活動を始めている人を見ると焦りを感じた。(「9」)
- 会うと就活の話をするようになったから。(「7」)

【周囲の高まり度が「3」以下を選んだ学生】

- 学校の就活セミナーの出席率が悪く、対策をしているとは思えなかった。(「1」)
- あまり就職活動に関して話す機会が少なかったから。(「1」)
- 選考を受けている学生もいたが、ほとんどは行動をしていなかったから。(「3」)
- 私自身は焦っていましたが、周りはあまり動いている人が少なく感じました。(「3」)
- まだ3月からだから大丈夫と思っている人が多かった。(「2」)
- あまり就職に対する意識が強くなかった。自分との雰囲気ギャップを感じていたため。(「3」)
- 周りでリクルートスーツを持っていない人がいなかったから。また、就職という言葉も出て来なかったから。(「0」)
- まだ、就活をしていない人が大勢いる。(「0」)

3) 「就職活動」および「就職」に対する心情の天気模様

- 3月1日時点での就職志望者の「就職活動」に対する心情を天気であらわすと、2月は「薄日」が31.7%、「曇り」が32.7%とほぼ同水準で多くなっている。
- 3月の「就職活動」に対する心情の天気見通しは、「薄日」が32.2%と最も多く、次いで「曇り」が25.1%となった。
- 「就職活動」と同様に、「就職」に対する気持ちを天気であらわすと、2月は「曇り」が29.8%と最も多かった。

■「就職活動」に対する心情の天気模様_2月の現状および3月の見通し_大学生_全体(就職志望者/単一回答)

	快晴	晴れ	薄日	曇り	小雨	大雨
2月現状	3.1%	15.7%	31.7%	32.7%	10.0%	6.8%
3月見通し	5.8%	20.5%	32.2%	25.1%	9.0%	7.5%

<「就職活動」の総合天気>

2月現状	3月見通し
	

※『総合天気』については、「就職活動」または、「就職」に対する天気をもとに、加重平均を算出。その数値をもとに天気を判断している。

■「就職」に対する心情の天気模様_2月の現状_大学生_全体(就職志望者/単一回答)

	快晴	晴れ	薄日	曇り	小雨	大雨
2月現状	5.5%	21.3%	27.1%	29.8%	10.0%	6.4%

<「就職」の総合天気>

2月現状


<3月の天気を選んだ理由(自由回答)>

※コメント内の()は、「2月」→「3月」のそれぞれ天気

【天気が2月よりも良くなっている学生】

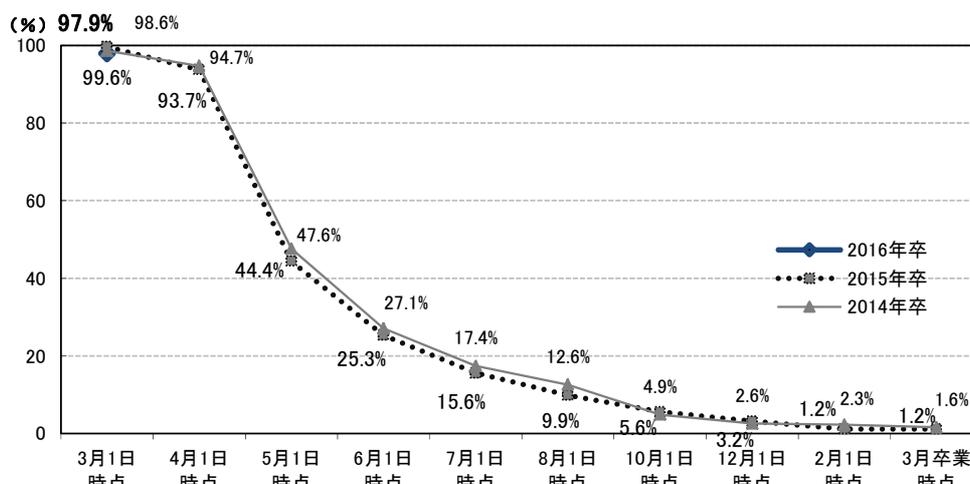
- 不安はまだたくさんあるが、少しは希望も見えてきているのではないかと思うため。(「曇り」→「薄日」)
- 今の不安が解消され、軸を持って、積極的に活動できていると良いという願いから。(「曇り」→「薄日」)
- 最初はどちらでもいいか手探りで行動していたが、2週間くらい経つとどちらでもいいかわかってきたので、このままいけばより良い印象になるのではと思った。(「薄日」→「晴れ」)
- 無理矢理にでもポジティブにとらえている。辛いこともあるけれど、すべて自分の成長に繋がっていると考えているようにしている。(「晴れ」→「快晴」)
- 多少は変わっていないと困る。(「大雨」→「小雨」)
- セミナーや合同説明会に行って自分が何をやりたいか、自分がどんな人間か分かってくるようになってきたので3月よりもうまくいきそうです。(「小雨」→「晴れ」)
- 日が経つにつれて人間は成長するから。(「小雨」→「薄日」)
- いろいろな企業のセミナーの参加を予定しているから。(「大雨」→「薄日」)
- 願いも込めて。有言実行。晴れにするとここで宣言したので、今よりは向上させる。企業研究をし、働く姿がリアルにイメージできるESに仕上げる。(「薄日」→「晴れ」)

【天気が2月よりも悪くなっている学生】

- 3月中は具体的に何かを出来るわけではないので。(「快晴」→「薄日」)
- ESの締切に追われ、連日の単独説明会に疲弊しきっていると思うから。(「晴れ」→「曇り」)
- 少しずつ現実を見て、面接やSPIなどを受けて、将来どうなるか不安になってくると思うから。(「晴れ」→「曇り」)
- 学業と生活との両立が難しい。(「薄日」→「小雨」)
- どんな企業があるのか楽しみに思う気持ちも少なからずあるが、それ以上に自分に合う就職先が見つかるのか、見つかったとして就職することができるのか、不安ばかりだから。(「薄日」→「曇り」)
- 会社説明会に参加すると、周りの学生の意識の高さに気後れしているから。(「小雨」→「大雨」)
- 学校も始まり、両立していけるか不安。6月には教育実習もあるので、そこで何らかの問題が起こらないか気にしている。(「薄日」→「曇り」)

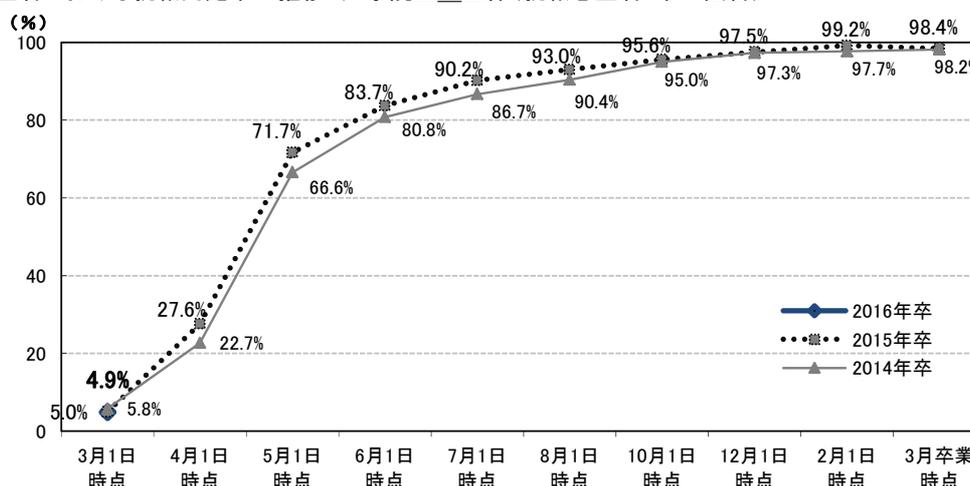
【参考データ】大学院生の就職活動状況および内定状況のデータ

□就職志望者における就職活動実施率の推移 大学院生_全体(就職志望者/単一回答)



		3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	6月1日 時点	7月1日 時点	8月1日 時点	10月1日 時点	12月1日 時点	2月1日 時点	3月卒業 時点
全体	2016年卒	97.9%									
	2015年卒	99.6%	93.7%	44.4%	25.3%	15.6%	9.9%	5.6%	3.2%	1.2%	1.2%
	2014年卒	98.6%	94.7%	47.6%	27.1%	17.4%	12.6%	4.9%	2.6%	2.3%	1.6%
	前回差										
	前年同月差	-1.7									
理系	2016年卒	98.2%									
	2015年卒	99.7%	93.4%	43.4%	23.4%	14.0%	8.1%	4.7%	2.8%	1.0%	1.0%
	2014年卒	98.8%	95.0%	46.6%	25.6%	15.7%	12.0%	4.1%	2.3%	1.9%	1.1%
	前回差										
	前年同月差	-1.5									

□就職志望者における就職内定率の推移 大学院生_全体(就職志望者/単一回答)



		3月1日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	6月1日 時点	7月1日 時点	8月1日 時点	10月1日 時点	12月1日 時点	2月1日 時点	3月卒業 時点
全体	2016年卒	4.9%									
	2015年卒	5.0%	27.6%	71.7%	83.7%	90.2%	93.0%	95.6%	97.5%	99.2%	98.4%
	2014年卒	5.8%	22.7%	66.6%	80.8%	86.7%	90.4%	95.0%	97.3%	97.7%	98.2%
	前回差										
	前年同月差	-0.1									
理系	2016年卒	5.0%									
	2015年卒	4.8%	28.0%	72.6%	84.8%	91.4%	94.2%	96.3%	98.2%	99.2%	98.5%
	2014年卒	5.2%	23.1%	67.5%	82.3%	88.2%	91.0%	95.5%	97.4%	97.8%	98.5%
	前回差										
	前年同月差	0.2									